

マイナー対策

コストパフォーマンス良好！



国試まで残り4ヵ月。残された時間がわずかだからこそ、短時間で効率のよい国試対策がしたいですね。そんな人にこそおすすめしたいのが、マイナー分野の対策です。

マイナーは眼科・耳鼻咽喉科・整形外科・精神科・皮膚科・泌尿器科・放射線科の7科目で、**毎年国試の出題割合の約2割を占めています。**

出題頻度の低いマイナー対策をするのはあまり効率的でないように感じるかもしれませんが、しかし本当に重要なのは、単純な割合だけの話ではないのです。

実は、マイナー科目は同じ項目が出題され

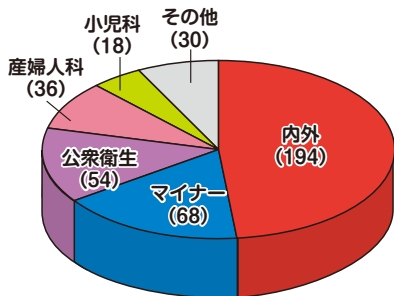
やすく、かつ内科・外科と比べるとひねりの少ない問題が多いので、症状や検査、治療といったポイントを的確に押さえれば確実に得点を伸ばせます。逆に言えば、少ない勉強でも差がつきやすく、安易に捨ててしまうと取るべき問題を落としてしまい、不合格になってしまう可能性だってあるのです… そうならないよう、しっかり対策をしておいしい得点源にしちゃいましょう。

ただし、マイナーはおいしい分野といえども、闇雲に勉強するだけでは効果はなかなか上がりません。

国試の傾向をしっかりと把握し、限られた時間で効率良くマイナー対策を進めていきましょう！

マイナー対策の講義動画もありますので、ぜひ活用してみてください。

講義動画はコチラから→



▲ 113 回国試の科目別出題数

() 内は各問題数

出題傾向を知り、頻出テーマに絞って学習！

レビューブック マイナー（以下RB マイナー）では、国試頻出度の目安として「メシュラン」を掲載しており、★が2つ以上の項目は国試頻出項目といえます。マイナー科目で★が2つ以上の項目がどれくらいあるのか、気になりますよね？

次ページの表を見てください。メシュランの項目のうち、10年以内に1回でも出題されたことのある項目を抽出し、さらにその中から★が2つ以上付いている項目の割合を表にしました。どの科目も、出題されたことのある項目数に比べて頻出の項目数は少ないことがわかります。

科目名	10年以内に 出題されたことのある 項目数	★★以上の 項目数	割合
眼科	58	12	20.69%
耳鼻咽喉科	40	12	30.00%
整形外科	49	11	22.45%
精神科	34	13	38.24%
皮膚科	59	10	16.95%
泌尿器科	42	13	30.95%
放射線科	15	5	33.33%

マイナー科目はどれも10個前後の項目を勉強するだけで点数の底上げをはかることができます。特に、眼科と皮膚科はバツと見出題されたことのある項目数が非常に多く、気が減入りそうになりますが、実際に国試で頻繁に問われる、押さえておくべき項目の割合は2割程度に過ぎません。どの項目を押さえておくべきなのか、RBマイナーで確認しておきましょう。

RBマイナーの中身を少しご紹介→



精神科はコスパ最強！

さらに、マイナーの中でも一際優れたコストパフォーマンスを誇るのが精神科です。最新112回国試での分野別平均出題数ランキングを見てみましょう。

精神科は全27科目中、感染症、肝・胆・膵といったメジャー分野に続いて12位となっており、もはや“マイナー”とは呼べないレベルになっていることがわかります。上記★付き項目のデータを見ても、国試における精神科の重要性は歴然です。

マイナー科目の出題数TOP3は、毎年おおむね**精神科**、**泌尿器科**、**耳鼻咽喉科**となっています。よりコストパフォーマンスのよい科目から対策していきましょう。

画像対策がカギ！

国試のマイナー科目における画像問題の出題数をご存知ですか？最新113回国試の**全画像問題101問のうち、マイナー科目からの出題は29問**で、画像問題全体の約3割を占めていました。一方で、113回国試400問のうち、68問がマイナー科目からの出題なので、**マイナー科目だけで見ると40%超が画像問題**であることがわかります。つまり、マイナーでは**画像対策がカギ**となってきます。キーワードと画像を結びつけて覚えるよう意識していきましょう。

▼113回国試の科目別出題割合

順位	分野	問題数	出題割合
1	公衆衛生	54	13.5%
2	循環器	27	6.8%
2	呼吸器	27	6.8%
4	産科	25	6.3%
5	神経	22	5.5%
6	医学総論	21	5.3%
7	消化管	19	4.8%
7	救急	19	4.8%
9	小児科	18	4.5%
10	感染症	17	4.3%
11	肝・胆・膵	15	3.8%
12	精神科	14	3.5%
12	代謝・内分泌	14	3.5%
14	泌尿器科	13	3.3%
14	血液	13	3.3%
16	耳鼻咽喉科	11	2.8%
16	整形外科	11	2.8%
16	免疫・膠原病	11	2.8%
19	腎	9	2.3%
19	婦人科	9	2.3%
21	皮膚科	8	2.0%
21	老年医学	8	2.0%
23	眼科	7	1.8%
24	放射線科	4	1.0%
25	乳腺外科	2	0.5%
26	中毒	1	0.3%
26	麻酔	1	0.3%